

古紙の専門商社 リサイクル事業を推進。



森代表取締役専務

株式会社宮崎
(西春日井郡新川町)

新川町役場のすぐ近く、川沿いに立地する株式会社宮崎に伺い、事業内容や今後の展望などについて森代表専務取締役にお話していただきました。

—最初に主な事業内容を教えていただけませんか。

森代表専務取締役(以下森に略)「当社は古紙の回収及びリサイクルがメインの専門商社です。事業の歴史も昭和12年に端を發しますから、老舗といってもよいかもしれません。産業廃棄物処理業に参入したのは5年前。リサイクル事業に関連した流れの中で、産業廃棄物処理業の許可取得の必要性が生じたことがきっかけです。」

—産業廃棄物処理の部門の伸び率はどれくらいですか。

森「順調に伸びているというところでしょうか。特にこの2年程は、環境問題に対する関心の高まりとともに伸び率が顕著です。」

—社業の歴史から見ても、「はじめにリサイクルありきだ」と思いますが、貴社の産業廃棄物処理に対する取り組み方にはどのような特色があるとお考えですか。

森「基本的な考え方として、処理するのではなくリサイクルしていくという発想のもとに取り組んでいます。排出事業者から出された産業廃棄物の中でリサイクル可能なものはすべてやっていく。収集運搬、処理だけでなく、トータルな動きの中で排出事業者サイドの合理化施策とタイアップすることができるのが特色でしょうか。景気が低迷している時期ですから、企業も経費削減に躍起になっていますが、産業廃棄物を安く処理する業者に委託する傾向がまだある



社名/株式会社宮崎 所在地/愛知県西春日井郡新川町西堀江2416
代表者/梅田慎也 創業/昭和12年 従業員/250名(グループ全体)
TEL/052(409)2281 事業所/本社、東京支店、11営業所
営業種別/収集運搬、中間処理 取扱い品目/燃えがら、汚泥、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず及び陶磁器くず、建設廃材、ダスト類

ような気がします。この点を改善するため、もっと排出事業者サイドと対話を持ち、どうしたら安価に適正な処理ができるかを模索していくべきだと思いますね。事実、当社はその方向で現在動いております。」

—産業廃棄物のリサイクル促進が業界の流れの一つになってきましたが、この点に関してはどのような意見をお持ちですか。

森「リサイクルを促進していくと、産業廃棄物の発生総量の減少につながるのだから業としては逆行する流れかもしれません。環境問題解決の一翼を担うという意味合いからは、この流れを推進していくことが最も大切だと考えています。」

—最後に、リサイクル製品の販路づくりにはどう取り組まれていますか。

森「リサイクル製品の市場が狭いので、一般の方々や企業にリサイクル製品使用拡大に対するコンセンサスづくりに取り組んでいます。」